

## 執筆者紹介 (本文執筆順)

橋元淳一郎 (はしもと じゅんいちろう) 相愛大学名誉教授。著書『時間はどこで生まれるのか』(集英社新書)、『神の仕掛けた玩具』(講談社)。日本文藝家協会、日本SF作家クラブ、日本物理学会、日本天文学会員。

SCHWENKER, Wolfgang (ヴォルフガング・シユヴェントカー) 大阪大学人間科学研究科教授。専攻は比較思想史。著書『Konservative Vereine und Revolution in Preussen 1848/49』Droste 1988、『Die Samurai』Beck 2003、『リックス・ヴェーバーの日本—受容史の研究 1905-1995』みず書房 二〇一三年(共著書)、『リックス・ヴェーバーとその同時代人群像』ネルヴァ書房 一九九四年、『Geschichtsdenken in modernen Japan: Eine kommentierte Quellensammlung』Indicium 2015ほか。

東浦弘樹 (とううら ひろき) 関西学院大学文学部教授(フランス文学)。演劇ユニット・チーム銀河代表、劇作家、役者。著書『晴れた日には「異邦人」を読もう』(世界思想社、二〇一〇年)、『フランス恋愛文学をたのしむ』(世界思想社、二〇一二年)他。

平瀬礼太 (ひらせ れいた) 美術史家。著書『講座日本美術史6 美術を支えるもの』(共著、東京大学出版会)、『戦争と美術』(共著、国書刊行会)、『銅像受難の近代』(吉川弘文館、二〇一一年)(第23回倫雅美術奨励賞)、『彫刻と戦争の近代』(吉川弘文館、二〇一三年)、『肖像』文化考』(春秋社、二〇一四年)

賀谷充利 (くれたに みつとし) 相愛大学文学部教授。著書『志賀直哉、上高畑の「サロン」をめぐる考察』(創元社)、『近代、あるいは建築のゆくえ』(創元社)、『志賀直哉旧居の復元』(学校法人奈良学園)、『中之島図書館—新たな百年の一步—歴史から学ぶこと』(明日の中之島図書館を考える会)他。

吉川仁子 (よしかわ ひとこ) 奈良女子大学文学部准教授。専門は日本近代文学。主要論文『芥川龍之介』『安鶴山屋』考(阪本龍門文庫蔵自筆原稿の検討を通して)、『叙説』平成十四年十二月)、『夏目漱石と森田草平』手紙を書く女・書かない女』(女の手紙) 双文社出版 平成十六年)、『夏目漱石『明暗』論—清子らしきとは何か?—』(『明暗』論集 清子のいる風景』和泉書院 平成十九年)

弦巻克二 (つるまき かつじ) 奈良女子大学名誉教授。専攻は日本近代文学。主要論文『ねむり看守』(論集 泉鏡花第二集)、『有精堂ノチ和泉書院』、『関東大震災と鏡花』(ことばとことのは 第十集) 和泉書院)、『中島敦「北方行」管見』(叙説 平成九年三月)他。

## りずむ 第六号

平成二十九年三月二十五日印刷  
平成二十九年三月三十日 発行

編・発行者 白樺サロンの会

公開講座 〒630-8301 奈良市高畑町二二三七一一

志賀直哉旧居(学校法人奈良学園セミナーハウス)  
〒742-2126 六四九〇

発行所・事務局 〒658-0003 神戸市東灘区本山北町五丁目  
一〇一—二二—二〇一

白樺サロンの会

〇七八(四五三)五五四五

印刷所 〒615-0052 京都市右京区西院清水町一三

協和印刷株式会社

〇七五(三二二)四〇一〇